受入先	商工観光課
隊員氏名	岩崎泰依
着任日	平成 30 年10月1日

活動月	令和元年 12 月(着任1年3カ月目)
主な活動	1 武家屋敷コットンファームの活動(12月)
	2 第2回武家屋敷朝ヨガ
	3 武家屋敷の門松づくり
	4 2019年を振り返って

1 武家屋敷コットンファームの活動(12月)

12月は収穫も終わり、畑の片付けをしました。何もなくなってすっきりした畑を見て何だか寂しく思う気持ちと、無事に 1 年目にして収穫にこぎつけた事をありがたく感じる気持ちがわいてきました。これからゴールデンウィークの頃の種まきまでは畑の土づくりなどをしっかり行っていきたいと思います。また今月は熊本の南阿蘇に和綿の技術研修に行ってきました。普段自分が行っている作業に加え、糸を 2 本一緒に撚りにかけ強度を上げる双糸、三つ撚り、糊付けを重点的に習いました。技術面だけでなくいろいろな方との交流の場としてものづくりををみんなで行う事の楽しさに触れとても勉強になりました。

また、2020 年からは糸紡ぎワークショップなどを通して皆さんに和綿に触れてもらう機会を多く作っていきます。



1月からは土づくりにはいります。

2 第2回武家屋敷朝ヨガ

11月から始めた武家屋敷朝ヨガの2回目。かなり朝の冷え込みが厳しく参加人数も前回より少なかったのですが、そんな中遠くは指宿から小学生の女の子も参加してくれました。このように小さな事でも行動を起こすことでいろいろな人との繋がりが出来て

いくのだと感じています。朝ヨガに関しては申し込み制ではなく参加者がその日の気分で気楽に参加出来るようにしたかったので、当日始まるまで何人来るかわかりませんが自分も参加者と一緒に楽しみながら長く続けていけたらと思っています。暖かくなったら西郷邸の隣の芝生の広場を利用して外での開催も予定しています。



<知覧の朝活!>

次回は 1 月 26 日(日)の開催です。当日は 知覧の朝市も行われているので是非併せてご参加 下さい。



3 武家屋敷の門松づくり

今回武家屋敷の門松づくりのお手伝いをさせていただきました。武家屋敷の門松は昔ながらの様式に従い正月から 21 日の間に 3 段階に姿を変えます。お正月を迎える最初の門松はシラスを盛り、その上に松、竹、梅、ゆずり葉、ウラジロを立てて土台となるシラスに薪の割れ木を 3 本並べます。伝統に基づいて作られる武家屋敷の門松は簡素な美しさがあり、武家門の前に佇む様子はとても威厳があ武家屋敷の風景がより魅力的に感じられます。門松を立てている様子を見た観光客の皆さんもとても喜んでくださいました。中でも広島からお越しのお客様が「自分の住む広島は原爆でそれまで築いてきた伝統や文化が途絶えてしまった。このような門松が見ることが出来てとてもうれしいしうらやましい」と言われた事がとても印象に残っています。文化や風習を大切に受け継いで守っていくということはただ見た目だけの体裁を整えるという事では無くその一つ一つの 物事に意味があって後世に残された私たちに生活を送る上でのもたらすものであると感じました。

南九州市地域おこし協力隊活動報告書





4 2019年を振り返って

2019年は1月から活動場所が市役所から武家屋敷の事務所に移し自主企画イベントではひな祭り、和綿の種まき、ゴールデンウィークイベント、七夕まつり、風鈴の小径、お月見コンサート、スタンプラリーオープニングイベント、朝ヨガの会を開催しました。また地域のイベントやお祭りに参加したり、国際交流関係のイベントでは南九州市外でもインド料理の講習会をさせて頂く機会もありました。和綿の畑も収穫まで行う事ができ研修先でも親身に技術を教えて下さるだけでなく励ましのお言葉も頂きました。たくさんの方と知り合い、たくさんご協力頂きました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。2020年は今までの良かった点、反省する点を踏まえてさらに精力的に活動を行っていきたいと思います。